

# 石山学区 防災だより

第1号(創刊号)

編集発行

大津市  
石山学区自主防災会  
(石山市民センター内)  
責任者/中桐 正  
印刷/(株)協同印刷



## 「石山防災だより」 創刊にあたり

皆様こんにちは、平素は、安心安全なまちづくりにご尽力いただき有り難うございます。

石山学区自主防災会は、十二自治会で構成し、一周年を迎えました。この間、防災意識の普及、啓発や防災訓練の実施等の活動を行ってきました。そして、本年度から三ヶ年計画で各自治会防災会に対して防災器機を配備することと決定しております。さて、

『災害は忘れた頃にやってくる』  
『備えあれば憂いなし』  
先人の尊い経験に富んだ示唆があることは、ご案内のとおりであります。

近年全国各地で、災害により貴人命が失われ、大切な財産が喪失・破壊される状況がテレビ・新聞などを通して報道されております。当地区は、幸い良い環境に恵ま



石山学区  
自主防災会  
会長 中桐 正



れここ数年無事な日々が続いております。しかし、本市には、琵琶湖西岸断層帯があることは、ご案内のとおりであります。断層帯に関しては、更に研究が行われておりますが、何時活動するかについては、判っておりません。

当防災会としては、地震・火事・台風等に対し、平時である今日この時に組織的にそして隣人同士は勿論、自治会が一体となり密接な連携のもとに、災害を最少に止める意識啓発・訓練の実施が不可欠であると考えております。とはいっても、自主防災会の活動には、限度があります。

今後とも、大津市をはじめ、身近にある消防署等行政機関との連携を密にし、ご指導を仰ぐと共に区内事業所の方々は勿論、皆様方のご協力により安心安全なまちづくりに寄与出来るよう、目標

は高く実行は着実にをモットーとして、防災対策を進めたいと考えております。  
最後になりましたが、師走を迎え、皆様方には公私ともご多忙の事と存じますが、火災多発の時期でもあり、火元には十分ご配慮賜りながらご健勝で二層のご活躍をご祈念申し上げます。

### 石山学区自主防災会 平成20年度 事業計画

- 1. 防災教育及び防災啓発**
  - ポスター・標語の募集・展示
  - 防災展示及び地震体験の実施
  - 役員研修会の実施
  - 先進学区視察
  - 災害発生時におけるマップ作り
  - 各種研修会、訓練、行事等への参加
  - 広報紙(機関紙)の発行
- 2. 会議の開催**
  - 総会、役員会、専門部会の開催
- 3. 防災訓練等の支援**
  - 地域防災会(支部)における防災訓練等の支援・激励
  - 地域防災会(支部)における年末警戒等への支援・激励
- 4. 簡易防災資機材の整備**
  - 簡易防災資機材の順次計画的配置



ケガ人を安全な場所まで運び出し、応急処置の訓練中

滋賀県南部にて直下型地震が発生、家屋等が崩壊、多数の負傷者が発生したとの想定で、7月20日厳しい暑さの中、石山小学校において訓練が行われました。石山学区自主防災会も学区自治会の方々と共に参加して訓練が始まりました。  
瓦礫等の下敷きになっているケガ人を簡易救助器具を使って救助する人、安全な場所に搬送して応急処置を行う人、実践しながらの様相です。そうしているうちに煙

### 平成20年度 大津市夏季 防災・地震等 災害防ぎよ訓練



が上がり、小学校で火災が発生したとの事で、地元女性消防隊が軽可搬ポンプを押しつけて、初期消火活動にあたり数分後に鎮火。この頃に災害対策本部が立ち上げられました。付近住民の方々が次々と避難して来られたのを、安全な場所に誘導し人数を確認して本部に報告する、また災害救援物資が届いたので炊き出しを始めるなど、緊張の中にも混乱なくそれぞれの役割をきちんとこなされて、「もしも」の時にもこうありたいものだと思います。その後消防署、分団の方々が到着されて、次々に救助や防ぎよ活動にあたられた私たちは見学に回りましたが、その姿に、普段からこのような訓練をされているからこそ、



私たちの安全が守られているのだと、心から尊敬と感謝の念を持ちました。  
災害時には地域住民のまとまり、相互協力が絶対に不可欠です。私だけでなくこの訓練に参加された皆さんは、何かしら得て頂けた事と思います。「備えあれば憂いなし」この訓練をきっかけに、防災意識を高めて参りましょう。  
(事務局次長 岩井美恵)

### 石山学区自主防災会 役員紹介

会長	中桐 正
副会長	杉本 正之 森江 鎮四郎
幹事	畑中 實 田富 和子 八田 士雄
事務局次長	久西 璋郎 岩井 美恵
避難部長	堀池 一吉 黒崎 栄
消火・救助部長	田中 文士 原敏 和
安否・支援部長	青木 義秋 高岡 之夫
情報・物資部長	平尾 輝郎 井寺 快



第3号

編集発行

大津市 石山学区自主防災会 (石山市民センター内) 責任者/中桐 正 印刷/協同印刷



ごあいさつ

石山学区自主防災会

会長 中桐 正



学区民の皆様には、それぞれのお立場で学区まちづくり活動へのご参加、ご苦勞様でございます。

当防災会では発足以来、器具庫や防火水槽の設置をはじめ、防災器材の整備に努めているところ... 今後当防災会としましては、整備いたしました防災器材の実地訓練や防災意識の啓発、研修等を行う、災害時の減災に努めていきたいと考えております。

状況についてご報告させて頂き... 師走を迎え皆様には公私共にご多忙の事と存じますが、火災多発の時期でもありますので、火元には十分ご注意ください。

寒さも一層厳しくなると思えますので、健康にご留意され、ご健勝で新年を迎えられますようご祈念申し上げます。

自治会防火・防災の取り組み

石山寺辺自治会自主防災会

支部長 倉田 誠治

自主防災会及び女性消防隊年間活動状況

毎月第二日曜日

五月 新宮神社にて宵宮祭警備

六月 女性消防隊町内消火器、消火器具庫の点検・清掃

七月 消火栓表示塗装作業

新宮神社千燈祭かがり火警備

十一月 女性消防隊消火栓操法訓練 隊員50名

十二月 年末夜警 自主防災会 20時30分～5時00分

一月 大津市出初め式 自主防災会

寺辺町自主防災会出初め式 女性消防隊50名

二月 自治会防災訓練

三月 女性消防隊研修旅行

平津自治会自主防災会

支部長 大久保 智

\*毎年6月(今年度は6月10日)9時30分～1時30分に南消防署の指導協力を得て、その時々々の状況に応じて消火訓練(消火器の使用、消火栓の取り扱い)や応急処置(AEDの取り扱い)方法、三角巾の作り方等について2時間程度を平津



大津市総合防災訓練(避難所運営訓練)平成23年9月25日

会館及び周辺で実施。参加人数は80名程度

\*町内として毎年自治会役員、組長、各種団体、町有志を指名して自主防災会を組織し委嘱状を交付している。

防災会には、消火、設営、救護、情報連絡、誘導、炊き出しの6班に分けている。

\*年末(12月28日～30日)には、自治会役員と組長により歳末警戒を実施。

\*年初には平津消防分団による初出式の後、南消防署の指導による消火器の使用方法等の訓練を行っている。

大平山県営自治会自主防災会

支部長 富樫 静夫

活動方針

「ふれあい 気配り 助け合い」 当自治会の建替(148世帯)も完了し、年々高齢化の進む住民の命を守るべく災害発生時に備え、日常における声掛けや、お互いの健康を確認できる出会いの場をつくること。

高齢者の方々へ

- \*無理をせず
\*マイペースでお願いします。
\*ご近所の人とお話しましょう。
\*ご家族や親戚の人に電話をしましょう。

県営南団地自治会

会長 涌田 和子

当自治会の自主防災組織は、19年に立上げて6年になります。



毎年数名の役員交代毎に組織表も書き換え、何か有ればすばやく連絡、伝達が出来る様になっています。

実際に行った自主練習としては、昨年(平成23年)の9月に滋賀大にて石山・南郷2学区で大津市総合防災訓練に参加した際、当自治会は、朝一番に町内の放送にて「ウーウー」とサイレンを鳴らし、避難場所である南団地広場に集合を呼びかけ、その後消防士の方の先導にて皆滋賀大まで歩いて総合防災訓練に参加した事です。

中には、リュックサックに荷物を詰め込み背負って参加頂いた年配の方もおられました。まずは、今のところうれしい事に災害、被害もなく石山は安心安全な街だと喜んでおります。毎年11月18日に行なう訓練ですが、自主防災に関して消防署に依頼し、今年は集会所にて心肺蘇生法・AEDの操作説明・119番の通報要領・応急手当では異物を飲みこんだら、止血

の方法、やけどをしたらと身近な問題をとり上げて勉強をする予定です。30名ほどの参加を予定しています。

夏休み中と年末に(一週間)夜10時より4人づつでパトロールも長年続けています。

西武石山団地自治会自主防災会

支部長 土居 義生

一、自主防災組織の見直し実施中です。

実際に災害時に有効に機能しなければ意味がない為、再検討している。

二、急傾斜地の立ち枯れした大木を市の協力により伐採しました。

三、団地内の消火栓、防火水槽及び消火器(26ヶ所)の所在場所の再確認と消火器の点検を実施(消火器ナンバー、有効期限、破損の有無等)

四、防災訓練の年内実施を検討中

五、防災講演会 平成25年1月20日(日) 自治会館にて (内容)大地震と想定される被害と対応

六、防災器具の購入
メガホン、ヘルメットの購入を検討中。毎年少しづつ購入し防災器具の充実をはかる。

石山団地自治会

会長 栗田 勝則

現在自主防災会の活動ができていないため、年内に組織、規約及び防災計画を作り、南消防署の協力も得て、平成25年度より活動を開始したい。現在組織作りを進めている。



① 心肺蘇生…心臓マッサージ、AED取扱い

石山寺辺女性自衛消防隊は昭和五十三年に発足し、自主防災会と共に現在会員数八十四名で活動しています。十月には、町内に設置してある消火栓からの放水訓練を、消防署の指導の下に行いました。

模擬の器具を使つての訓練です。消防署の分りやすい丁寧な指導で、少人数でも放水が出来ることを理解してもらえたと思います。その後、各町内を廻つて、消火栓の位置の確認(目立つよう黄色に塗ってあります)、消火器・消火器具の点検を行いました。「大変分りやすい訓練で、ため



自治会からの活動状況について報告がありましたのでお便りします。

第2号

編集発行

大津市  
石山学区自主防災会  
(石山市民センター内)  
責任者/中桐 正  
印刷/(株)協同印刷



### 防火・防災に強いわが街づくり!

石山寺辺女性自衛消防隊  
隊長 岩井 美恵



になりました」  
との感想を多くいただき、有意義でありました。発足以来三十年以上経過した今、心強い限りです。

来春早々には、町内の新宮神社で恒例の出初式を行います。

来年度は、自治会内各家庭の消火器の点検、詰め替え・新規購入の斡旋、そして火災警報器の取り付け推進に、力を入れてまいります。

### 私たちの自主防災活

大平山県営自治会  
自主防災会支部長

富樫 静夫

学区自主防災会設立と共に、自主防災会も発足しました。しかし居住されている方々の高齢化は否めません。活動方針「近隣相互の声掛けと助け合いで安心安全な地域づくり」をメインに自主防災体制の基、日常は自治会役員が中心となり民生・福祉委員の協力を得て取り組んでおります。



② 参加者の皆さん

### 平津の取り組み

平津自治会  
会長 井上 一夫

平津では、平成七年十月一日に自主防災会を設立、年度更新で本部役員を委嘱(二十一年度八十六名)、そして毎年年度当初と新年早々に防火防災訓練を実施しています。

本年度は去る六月十四日に平津会館で、町内の皆さん八十二名参加のもと阪神淡路大震災の教訓のビデオ上映により災害が発生した際の留意事項などの研修の後、水噴射消火器を使って初期消火の訓練、救急救命士の指導による応急処置の実践、AEDの取扱いの説明を受けた他、家庭用消火器の薬剤の詰め替え(有料)を行い、防火・防災意識の高揚を図りました。

今後も恒例事業として、訓練

### 自主防災について

石山団地市営自治会  
会長 堀池 一

と研修を実施し、平素から「いざという時の備え」に努めています。

石山市営住宅は、全戸で255戸の大きな団地です。

昨年団地のところどころに消火器が設置されたので消防署の方に来ていただき消火器の使用方法・消火活動の方法を教わりました。

自治会員も高齢化となっておりませんが、役員を筆頭に組長さんが自分の組の中でいざという時、手助けが必要な人の人数を把握し不分から声かけを心がけ、出来る事を頑張つて行きたいと思っておりますが老齢化がすすんでおりますので、石山学区自主防災会また公の機関の協力もお願いしたいと思ひます。

### 自主防災について

県営石山南団地自治会  
会長 涌田 和子

当自治会は、三年前の平成十九年十一月に自主防災会を立ち上げました。いつ起こるかかわらない災害時においては、先ず住民の方々に声掛けをするようにしています。

年度ごとに組織図を作成し、各階上の方18人をお願いして、緊急時の降る際に、「各戸玄関のチャイムを押しながら降りるように」とお願いしています。

そして、何があっても非難場所である大平保育園奥の南団地広

場に集合する様に呼びかけています。

又、住民の方には、緊急連絡先等の情報を得るための同意書(任意)の登録を依頼して、自治会長が預かっています。その中には、離れている子どもさん達の携帯番号やなかには掛かり付けの病院まで記入されています。

まずは簡単な二点ではあります、皆の努力で災害被害が少しでも軽くなる様に又この一年名前だけで終わるのが一番の幸せだ」と思ひながら三年が過ぎようとしています。

### 西武石山団地防災の取り組み状況

西武石山団地自治会  
会長 吉倉 軍之進

西武石山団地周辺では、土砂災害警戒区域、急傾斜地危険箇所が有り大規模災害時の状況は、予想し難いものがあります。手近に出来ることから作業を進めることとし、

- ・ 自主防災組織の立ち上げ進行中
- ・ 当団地の避難場所は、大津清陵高校グラウンドであるが、距離



③ 防災士のお話… 防災士一杉本光彦(右側) 防災士一本田昭彦(左側)

- ・ 民生委員とのコミュニケーションを計り、一人暮らし等の住人の災害時の安全の確認を行う。
- ・ など当自治会では防災に対する関心が高まっています。

※①～④写真は、平成21年11月21日に実施した石山学区自主防災会による防災訓練状況です。南消防署南郷出張所職員の皆さん、防災士の皆さんありがとうございました。



④ 起振車による地震の模擬体験